

学校法人仙台育英学園の「SDGs宣言書」の策定支援について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）では、「77SDGs支援サービス」を通じて、学校法人仙台育英学園（以下、「当学園」といいます。）の「SDGs宣言書」の策定を支援いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当行は、持続可能な社会の実現に向け、地域金融機関として企業の「SDGs」への取組みを支援してまいります。

記

法人名	所在地	事業内容
学校法人仙台育英学園 (理事長 加藤 雄彦)	宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目4番1号	私立中高

(法人概要)

当学園は「私学教育の発展を図り、独立した教育機関として民主的文化国家の形成に貢献し、世界平和と人類の福祉増進に寄与する。」を使命として掲げています。

当学園創立125周年となる2030年までの達成を目標として掲げられたSDGsに対し、ESD（Education for Sustainable Development）の視点も取り入れた事業によって取り組むことを宣言し、経営計画「[I-Challenge125](#)」を策定しております。

当学園の設置学校には[秀光中学校](#)と仙台育英学園高等学校（[全日制課程](#)・[広域通信制課程](#)）があり、在校生は4,000名（うち留学生は約150名）を超え、様々な分野で活躍する卒業生を7万人以上輩出して参りました。

今後もグローバルスタンダードな教育活動を展開し、地域課題そして世界・未来の諸問題に“至誠”をもって向き合い解決に取り組む有為な人財を輩出して参ります。

注. 当学園の「SDGs宣言書」については、別紙のとおりです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「SDGs実践計画」を2021年10月に公表しました！

当行では、SDGsに対する取組みを更に強化するため「七十七グループのSDGs宣言」に基づき、新たに「SDGs実践計画」を策定しました。実践計画の詳細はこちらへ <https://www.77bank.co.jp/sustainability/sdgs2021.html>



SDGs宣言書



学校法人 仙台育英学園
2021年12月27日

本学園は七十七銀行のSDGs診断により、「プラチナSDGs」のランクを取得しました。
本学園はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

I-Change 125

仙台育英学園は2005年（平成17年）10月1日に創立100周年記念日を迎えました。
この時を機に、来る2030年（創立125周年）に向け、新たな学校づくりを推進していこうという思いと決意を込めて、「I-Challenge125」というスローガンとそのロゴマークを設定しました。
2021年10月1日には仙台育英学園の経営計画として「I-Challenge125」を再定義しました。

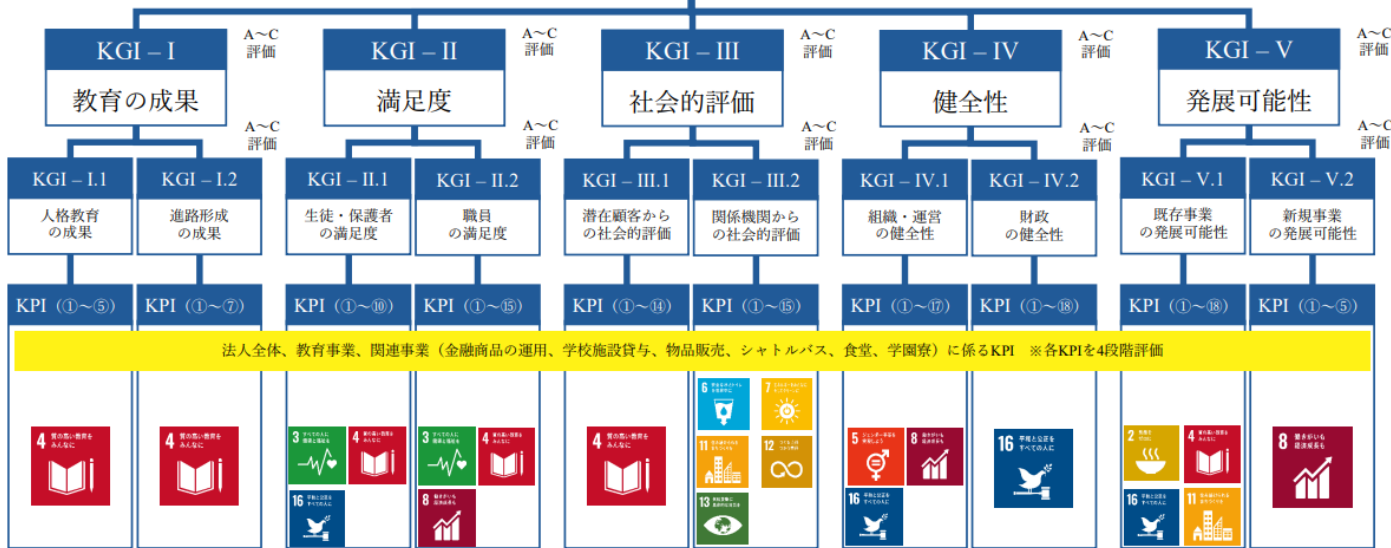
※下記は「I-Challenge 125」の概要を図示化したもの。詳細は[HP](#)よりご確認ください。

使命	私学教育の発展を図り、独立した教育機関として民主的文化国家の形成に貢献し、世界平和と人類の福祉増進に寄与する。
運営目標	<ul style="list-style-type: none"> 一、優良なる教員を集め設備を整備することは素より建学精神の普及徹底を図り勤務規定を励行する。 一、充実した教育を施し在校生も保護者も満足し得るように図る。 一、家庭人・社会人・国民・世界人として能く其の本務を尽くし得る人物を養成し、一般社会の信望を博することは勿論国の要望にも応える。

I-Challenge125

学校法人仙台育英学園は、私学であることを自覚しながら、創立125周年となる2030年までの達成を目標として掲げられたSDGs（Sustainable Development Goals）に対し、ESD（Education for Sustainable Development）の視点も取り入れた事業によって取り組む。そのために学校法人としてKGI（Key Goal Indicators）とKPI（Key Performance Indicators）を設定し、2030年10月1日までにKGIにおけるI～Vの全てでA評価となるよう努める。

Key Goal Indicators（重要目標達成指標） & Key Performance Indicators（重要業績評価指標）



SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

